

放射能関係のお知らせ

2017年7月1回(C週)

お届け日:2017/7/3~7/7

発行日:2017/6/19



本誌は、カタログ掲載の青果について、2017/6/15(木)午前中までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況
果実	さくらんぼ	品目で検査済
		検査予定
	すもも	品目で検査済
		検査予定
	小玉すいか	品目で検査済
		検査予定
	ブルーベリー	品目で検査済
		検査予定
	メロン	品目で検査済
		検査予定
桃	品目で検査済	
	検査予定	
りんご	品目で検査済	
果菜	いんげん	品目で検査済
		果菜類で検査済
		検査予定
	枝豆	品目で検査済
		検査予定
	オクラ	果菜類で検査済
		検査予定
	かぼちゃ	果菜類で検査済
		検査予定
	きゅうり	品目で検査済
果菜類で検査済		
検査予定		
ししとう	果菜類で検査済	
スナップえんどう	品目で検査済	
ズッキーニ	品目で検査済	
	果菜類で検査済	
	検査予定	
トマト	品目で検査済	
	果菜類で検査済	
	検査予定	
とうもろこし	果菜類で検査済	
冬瓜	品目で検査済	
なす	品目で検査済	
	果菜類で検査済	
ピーマン	品目で検査済	
	果菜類で検査済	
ミニトマト	品目で検査済	
	果菜類で検査済	
検査予定	佐久ゆうき	

分類	品目名	放射能検査の状況
葉菜	アスパラ	品目で検査済
	大葉	葉菜類で検査済
	キャベツ	葉菜類で検査済
		検査予定
	空心菜	品目で検査済
		葉菜類で検査済
	小松菜	品目で検査済
		葉菜類で検査済
	サニーレタス	葉菜類で検査済
		検査予定
セロリ	品目で検査済	
チンゲン菜	品目で検査済	
にら	品目で検査済	
	葉菜類で検査済	
にんにくの芽	検査予定	
ねぎ	品目で検査済	
	葉菜類で検査済	
葉ねぎ	品目で検査済	
	葉菜類で検査済	
ブロッコリー	品目で検査済	
ヘビリーフ	品目で検査済	
ほうれん草	品目で検査済	
	葉菜類で検査済	
みず菜	葉菜類で検査済	
	モロヘイヤ	葉菜類で検査済
ルッコラ	葉菜類で検査済	
レタス	品目で検査済	
	葉菜類で検査済	
検査予定	八ヶ岳モグラ会	
若芽ひじき	品目で検査済	
ごぼう	品目で検査済	
	根菜類で検査済	
	検査予定	
じゃがいも	品目で検査済	
	根菜類で検査済	
検査予定	やさと	
玉ねぎ	品目で検査済	
	根菜類で検査済	
検査予定	みどりの・佐久ゆうき	
大根	品目で検査済	
	検査予定	
人参	品目で検査済	
	根菜類で検査済	
にんにく	根菜類で検査済	

●青果以外の牛乳・牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。*酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

●きのこ類 放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況
えのき茸	品目で検査済
エリンギ	品目で検査済
しめじ(ひらたけ)	品目で検査済
ぶなしめじ	品目で検査済
まいたけ	品目で検査済
マッシュルーム	品目で検査済
山えのき	品目で検査済
4種のきのこセット	品目で検査済

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2017/6/7	13
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
4種のきのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

*6/14の検査では、生しいたけからの放射能検出はありませんでした。

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
なめこ	谷田部	2017/3/24	4.4
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
348	ひき肉と春雨のオイスターソース炒めセットのしいたけ	2017/5/8	4.9
290	もやしと豚肉のチャンプルセットのしいたけ		
339	コトコ きなり	2017/6/7	13
287	野菜たっぷりつけごはんセットのしいたけ		
354	コトコ きなり	2017/4/24	3.3
300	具だくさんの牛肉きんぴらセットのまいたけ水煮		
341	コトコ きなり	2017/4/24	3.3
292	鶏ときのこの炊き込みご飯セットのまいたけ水煮		
11252	コトコ きなり		
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

●青果の検査について

*北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県)の本州17都府県のカテゴリ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。
*旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになります。それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。
*検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。
*yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値 1Bq/kg で検査を行っています。

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・茎菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

薪ストーブおよびペレットストーブ

5月初めに、福島の森林火災が発生し、関東近県の空間線量もわずかに上昇しました。

チェルノブイリでは、森から薪を採取し、それをストーブを使用していたため、被曝したという事例紹介がありました。日本での薪や炭を使用したストーブや調理などでは、どのような事例が考えられるのでしょうか。

● 環境省発表の状況

2012年に東北から関東の65か所において一般家庭で使用される薪、薪の灰、排ガスの放射能濃度測定を行った結果が公開されています。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=14885>

これによりますと、灰は最大24万Bq/kgありました。薪そのものにも1460Bq/kgの高濃度に放射能を含むものもあったため、流通するものを使用することを勧めています。また、安全性が確認(計測したもの)以外は庭や畑にまかずに市町村の収集にだすようにしています。

● 林野庁の指定値

林野庁では、薪の放射能濃度を40Bq/kg、木炭の放射能濃度を280Bq/kgを推奨しています。放射能が含まれる薪を食品の調理に使用する際、薪および木炭に含まれる放射能のおよそ2%が食品に移ったとしています。<http://www.rinya.maff.go.jp/j/tokuyou/shintan4.html>

以上の推奨数値は、一般廃棄物として流通が可能な8000Bq/kgを基準に作られています。

また、薪・木炭のおよそ9割が灰にとどまるとしており、1割は大気中に拡散していると仮定されています。薪・木炭の煙には若干でも放射能が含まれていることになるため、小さなお子さんなどにとり、燃焼中の薪・木炭の煙には近づくのはあまりお勧めできません。

行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第1035)」(2017/3/14~2017/5/26で採取・購入された検体検査)より、国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg以上検出された検体は以下の通りです。

コシアブラ: 長野県長野市、新潟県南魚沼市ほか 190、150、130、100Bq/kg

タケノコ: 宮城県丸森町 160、110 Bq/kg
イノシシ肉: 宮城県亘理町 110Bq/kg

国の定めた基準値100Bq/kg未満で検出された上位数点です。

タケノコ: 宮城県丸森町・茨城県土浦市ほか 2~96Bq/kg
コシアブラ: 新潟県南魚沼市 86Bq/kg
原木シイタケ: 宮城県大崎市、茨城県常陸太田市ほか 3.5~32Bq/kg
イワナ: 群馬県中之条町(上沢渡川)ほか 3.1~48Bq/kg
ヤマメ: 群馬県中之条町(四万川)ほか 4.5~20Bq/kg
イノシシ肉: 宮城県白石市・角田市ほか 7.8~75Bq/kg

- 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg未満で検出された上位数点です。

ワラビ: 福島県猪苗代町・福島市 6.2~35Bq/kg
ウバミソウ: 福島県棚倉町・大玉村ほか 7.9~29Bq/kg
原木シイタケ: 福島県磐梯町・本宮市 4.2~26Bq/kg
ギンナ: 福島県猪苗代町(秋元湖)ほか 8.8~39Bq/kg
イワナ: 福島県福島市(阿武隈川水系)ほか 8~35Bq/kg
ヤマメ: 福島県桑折町(阿武隈川水系)ほか 32Bq/kg
シロメバル(海の魚): 福島県大熊町 23Bq/kg
乾シイタケ: 福島県喜多方市 18~46Bq/kg

- 国立医薬品食品衛生研究所より発表された検査結果、国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg以上検出された検体は以下の通りです。

コシアブラ: 群馬県沼田市、新潟県、岩手県流通品 270、170、130、100Bq/kg

原木シイタケ: 群馬県片品村流通品 110Bq/kg

国の定めた基準値100Bq/kg未満で検出された上位数点です。

コシアブラ: 新潟県、岩手県流通品 55~96Bq/kg
タラの芽: 岩手県流通品 51Bq/kg
原木シイタケ: 岩手県、群馬県流通品 12~39Bq/kg
ワラビ: 群馬県流通品 27Bq/kg
乾燥コウタケ: 岩手県流通品 92Bq/kg

山のほとんどが除染を行っていないため、放射能の減衰が自然の状態に任されています。集積しているところと少なくなっているところとありますが、状況はきちんと把握できていません。

現在でも、上記にありますように長野県や新潟県など事故のあった原発より遠い場所でも国の基準を超えて放射能が検出されます。

栽培管理を行っていない山で採取した山菜や検査を行っていない山菜は放射能が心配されます。山菜は十分に注意をしましょう。また、ジビエや天然淡水魚も注意が必要です。

6月の放射能検査状況

6月の検査は9日までで、しいたけから生しいたけ(原木栽培)から1件(13Bq/kg)の検出がありました。

乳幼児用食品は、検出下限値を2016年4月から1Bq/kgに下げましたが、現在まですべて不検出です。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	6月	6月の検出内容	6月
青果	22(0)		卵 0(0)
しいたけ	1(1)	生しいたけ(原木栽培) 13Bq/kg	魚介類 10(0)
その他のきのこ類	2(0)		飲料水・飲料 5(0)
米・米飯類	0(0)		乳幼児用食品 8(0)
牛乳・乳製品	0(0)		その他加工食品 45(0)
肉類	4(0)		合計 97(1)

2016年度の放射能検査の状況(2016年4月~2017年3月)

青果	2016年5月に小田原のバレンシアオレンジの3件中1件から3.2Bq/kgが検出されました。2017年2月に常総センターのれんこんで3件中1件(6.1Bq/kg)から放射能が検出されましたが、自主基準内でした。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけが(3.1~13Bq/kg)、しめじ(ひらたけ)が(3.0~3.5Bq/kg)、ぶなしめじが(3.1Bq/kg)、なめこが(4.4Bq/kg)で、放射能が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2016年産米の検査は26産地67検体の検査を行いました。日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(玄米)を検査したところ、2件(3.9、4.1Bq/kg)の検出がありました。検出された産地の米は、白米で検査を行い不検出でした。米の検査は全産地終了しました。 *放射能はぬか部分に多く蓄積します。検出されました栃木こしひかりは、不検出が確認されました白米でのお届けとなります。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値1Bq/kgで検査を行い、すべて不検出です。
その他加工食品	<お料理セット> 肉・豆腐などは定期的に検査を行っています。野菜のみを毎月検査を別途行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮(3.1~11Bq/kg)、まいたけ水煮(3.2Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。 <大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、2014年産および2015年産原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものがありますが、放射能は検出されていません。 <その他> 2016年11月にサプリメントのブルーベリー&ルテイン(6.5Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。

パルシステムの放射能検査について

● 検出限界について

高性能に放射能を計測できるゲルマニウム半導体検出器を2台導入して計測しています。yumyumおよび赤ちゃん&KidsのOK食品としている乳幼児用食品については、検出下限値を1Bq/kgまで検査しております。

検出限界(セシウム134,137それぞれ)			
2016年4月1日から新基準に変更		新	旧
乳幼児用食品		1	
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品		3	3

● 放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以東の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物

● 独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行いません

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム134,137の合計)			国の規格基準		
2014年10月より現行基準		現	旧		
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品	10	10		水、飲料茶 10 乳幼児用食品、牛乳 50	
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50	100	一般食品 100	
しいたけ	100				

*乾燥食品は生原料や摂取状態で検査します。(単位Bq/kg)

*乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。